

令和2年7月31日(金)15:00~17:00

大阪府立桜塚高等学校 会議室

准校長

委員(所属団体) 関西大学、定時制振興会、豊中市立第四中学校(夜間)、岡町・桜塚商業団体連合会、
豊中市社会福祉協議会、保護者

事務局 教頭、首席、教務部長、進路部長、書記

15:30~15:45(司会:教頭)

- 1 准校長 挨拶
- 2 委員紹介及び事務局員紹介
- 3 実施要項他について

資料1 学校運営協議会 実施要項

→説明(教頭より)

- 4 会長・副会長の選出

会長: 関西大学 社会安全学部 准教授 城下 英行
副会長: 定時制振興会 定時制振興会 永井 敏輝

15:45~17:00(司会:会長)

- 5 報告

(1) 定時制の状況(首席、教務部長、進路部長より)

- ・生徒数が少なく、アットホームな雰囲気がある。最近の生徒は大人しく、物事に一生懸命に取り組める生徒が多い傾向がある。生徒の中には小、中学校に通うことができていなかった子どもも多いが、授業が少人数で基礎的な生徒にあった内容であり、校内の雰囲気にも安心感があるため、学校に通えるようになったという生徒も多い。生徒一人ひとりに異なる課題や家庭環境があるため、教員は授業以外でも生徒の悩みを聞き、アプローチをしている。(首席より)
- ・学習への意欲のある生徒が多く、考査前に開かれる勉強会にはたくさんの生徒が自主的に参加している。教員も自主的に研修に参加するなど、向上心の高い者が多い。(教務部長より)
- ・本校の生徒は卒業後の進路に就職を選ぶ生徒が多いが、実際に採用されるために越えなければならないハードルは非常に高いと感じる。昨年度は就職を希望した生徒全員が学校紹介で就職することが出来ている。今年度は新型コロナの影響で就職活動の開始がひと月遅れているため、就職が決定するのも例年より遅く、生徒の気が緩んでしまわないかが心配である。(進路部長より)
- ・もともと全日制の学校が続かずこちらへ通わせることになったが、桜塚の教員は生徒一人ひとりを大切にしてくれていると感じている。以前の学校では自信を持たず空回りし、周りとのコミュニケーションもうまく取れなかった子どもが、自信を持ち、明るくなった。(保護者より)

【ご意見・ご質問】

- Q. 何のために学ぶのかを見失ってしまっている子どもに対して、学びたいという意欲を持って学校に通う高齢の生徒の存在は非常に重要であると考えているが、本校にはどれくらい高齢の生徒が在籍しているか。(会長より)
- A. 10年前には1学年に3名在籍することも珍しくなかったが、最近は30～40代の生徒を含めても学年に1人いるかどうかである。周りに年齢の近い生徒が少ない環境ではあるが、若い生徒へ良い影響を与えてくれているのは間違いない。(首席より)

豊中第四中学校に夜間中学が出来たことで本校にも高齢の生徒が増えたように思う。

(副会長より)

- Q. 子どもが全日制の高校を留年した際、次の進路として紹介されるのが通信制の高校ばかりで、定時制の話が全くなかったことに驚いた。全日制高校との連携は行っていないのか。(保護者より)
- A. 現在も連携してはいるが、今後は一層力を入れていきたいと考えている。(准校長より)
- Q. 今年度は新型コロナの影響で生徒の学習も例年通りには進められなかったと予想されるが、本校ではどのような対応を取ってきたのか。また今後の学習計画はどのようになっているのか。(商業団体連合会より)
- A. 生徒の学ぶ機会を確保するため、臨時休校期間中は各生徒へ学習プリントの郵送を行っていた。6月から授業は再開されたが、授業日数の確保のため、夏休み、冬休みを削減し、年間5回の土曜授業を実施する。行事についても球技大会は実施予定だが、文化祭は中止となり、3年の修学旅行も1月に延期、場所も沖縄から高知へ変更となった。(教務部長より)
- Q. 新型コロナによる進路への影響はすでにあるのか。(商業団体連合会より)
- A. 介護等求人数にあまり影響のない職種もあるが、宿泊や飲食関係の求人には減少がみられる。そのため希望する職種につけない生徒が増える可能性がある。また、就職活動自体が例年のスケジュールより1か月遅れているため、それが生徒の気の緩みに繋がる可能性が考えられる。就職がなかなか決まらない生徒は年度末になると例年より忙しくなることも予想される。(進路部長より)
- Q. 本校の授業などで、資格の取得など就職の際に評価されるような取り組みはしているか。(会長より)
- A. パソコン検定やワード・エクセル検定を取得するための授業を実施しており、昨年は2名の生徒が資格を取得している。希望者の有無により、英検や漢検の資格取得の授業を行った年もある。

(2)平成31年度学校経営計画 (准校長より)

資料2 平成31年度 学校経営計画及び学校評価

→計画については今年度も継続して実施したいと考えている。目標については概ね達成できている。

【ご意見・ご質問】

- Q. 未成年であるにも関わらず選挙権を有する生徒は選挙についてどのように感じているのか。(副会長より)
- A. 教員からも選挙に関する指導は行っているが、興味を持たない生徒の反応は薄いこともあった。(教務部長より)

6 協議

(1) 令和2年度学校経営計画中期目標について(准校長より)

資料3 令和2年度 学校経営計画及び学校評価(案)

- ・目指す学校像については昨年からの変更はない。
- ・全教員のICT活用については3年後を目標としていたが、新型コロナの影響によるオンライン授業の準備によって予定より早く対応できるようになった。
- ・3年後には生徒が積極的に教員や来客に挨拶できる学校を目指す。

【ご意見・ご質問】

- Q. 資料3内に「在籍生徒の適正管理」とあるが、生徒を管理するという表現はあまり使われないように思うが、生徒の何を管理しているのか。(豊中市立第四中学校より)
- A. 本校には長期間登校はしていないが、籍のみ残っている生徒も多いため、そういった生徒も含め、生徒の在籍状況を正しく管理するという意味である。生徒の管理という意味ではないため文言を改める。(准校長より)
- Q. 長期間学校に登校できていない生徒がいるという話があったが、生徒の在籍年数の上限は何年なのか。(会長より)
- A. 6年である。期間内に卒業できなかった生徒については、今後の進路についての相談を行っている。(首席より)
- Q. 学校に来られない生徒への支援は、どのようにして行っているか。(豊中市社会福祉協議会より)
- A. 家庭訪問などで密に連絡を取り、学校に登校できるように働きかけている。中には連絡の取れない生徒もあり、対応が難しい場合もある。(首席より)
- Q. 今年度は全日制、定時制合同での活動は何か計画されていないのか。(商業団体連合会より)
- A. 過去にはボランティアバスやクリスマスイベントなどを行ったが、今年度は時間等がなかなか合わず今後の課題であると考えている。(准校長より)
- ・ 資料3内に豊中市立第四中学校夜間学級との連携を強化とあるが、中学校訪問等で連絡を密に取ることに賛成である。ここ10年で定時制高校の事情は変わったように思うが、まだまだそれを知らない教員もいるように感じる。(豊中市立第四中学校より)
- A. 定時制への理解が進んでいないと感じることは確かにある。もともと学校見学会を積極的に行っているが、これまで2回行ってきた中高連絡会を1回に減らし、もう1回を授業見学の機会に充てたいと考えている。(教頭より)
- ・ 商店街との連携が今は何もできていないが、今後は何かできればいいと思っている。(商業団体連合会より)
- A. 10年前に商店街に生徒のアルバイトの相談をしたことがあったが、その時はそれきりになってしまった。もし今後そのような機会を提供してもらえれば、生徒たちの職場体験に繋がると思う。(首席より)
- 2月頃を予定しているボランティアフェスティバルをはじめ、今後様々なイベントを企画する予定なので、本校の生徒にも協力してもらえるとありがたい。(豊中市社会福祉協議会より)

Q. 本校での総合的な学習の時間にはどのような内容を取り扱っているのか。(関西大学より)

A. 図書館やパソコン室での文化活動や体育館やグラウンドでの体育活動の中から生徒が興味のあるものを選択し、学習している。普段のクラスとは違った集団での活動を通してコミュニケーション能力の育成を目指している。また、今年度からはキャリアパスポートを利用した進路教育も行っている。

(教務部長より)

Q. 今年度の豊中市立第四中学校夜間学級の新入生にはどのような生徒がいるか。(副会長より)

A. 10代から80代まで多様である。国籍は6割近くが外国籍である。(豊中市立第四中学校より)

(2) 令和3年度教科用図書選定について(教務部長より)

資料4 令和3年度使用教科用図書選定理由書

・調査委員会で5回協議を行い、決定した。

次回(第2回)

→全定合同での実施の予定だが、日程は未定。